

CAN ハードウェアと Windows 対応 NI-CAN™ ソフトウェア インストールガイド

このインストールガイドには、NI-CAN システムのインストール方法が記載されています。『NI-CAN Software for Windows』の CD には、『NI-CAN Hardware and Software Manual』一式 (PDF) が含まれています。CD またはハードドライブの NI-CAN Documentation フォルダにある NI-CAN Hardware and Software Manual.pdf を参照してください。

この CD の NI-CAN ソフトウェアでは、Microsoft Windows 2000/NT/XP/Me/9x オペレーティングシステムがサポートされています。

LabVIEW™, National Instruments™, NI-CAN™, NI™, ni.com™, RTSI™ は、ナショナルインスツルメンツの商標です。本書に掲載されている製品および会社名は該当各社の商標または商号です。National Instruments 製品を保護する特許については、ソフトウェアに含まれている特許情報 (ヘルプ→特許)、CD に含まれている patents.txt ファイル、または ni.com/patents のうち、該当するリソースから参照してください。

2002 年 10 月版
323138C-01

ni.com/jp



このインストールガイドでは、以下の NI-CAN ハードウェア製品について説明します。

PCI-CAN	PCMCIA-CAN	PXI-8460
PCI-CAN/2	PCMCIA-CAN/2	PXI-8461
PCI-CAN/LS		PXI-8462
PCI-CAN/LS2		
PCI-CAN/DS		

本書は、ユーザは既に Windows 2000/NT/XP/Me/9x に関する知識があるという前提で説明します。

ハードウェアを取り付ける前に NI-CAN ソフトウェアをインストールする

Windows 2000/NT/XP の場合、CAN ソフトウェアをインストールする前に、管理者または管理者権限を持つユーザとしてログオンすることが必要です。NI-CAN セットアッププログラムに管理者の権限が必要な理由は、システムの構成レジストリを変更するためです。

Windows のオペレーティングシステムでは、以下の手順に従ってインストールしてください。

1. 『NI-CAN Software for Windows』CD を CD-ROM ドライブに挿入します。CD-ROM ドライブがデータ CD を自動的に起動することができる場合、インストーラは自動的に起動します。

インストーラが自動的に起動しない場合は、Windows のエクスプローラで CD までナビゲートし、『NI-CAN Software for Windows』の CD から `setup.exe` ファイルを起動してください。

2. インストールウィザードを使用すると、NI-CAN ソフトウェアを簡単にインストールすることができます。**Back** を選択して前に戻り、値を変更することができます。また、**Cancel** をクリックすると、セットアップを終了することができます。
3. LabVIEW Real-Time (RT) がシステムにインストールされている場合、ご使用の Real-Time PXI コントローラ用の NI-CAN ドライバサポートをダウンロードします。Measurement & Automation Explorer (MAX) を起動し、オンラインヘルプに従って NI-CAN リアルタイムコンポーネントをリアルタイム PXI コントローラにダウンロードします。
4. セットアップが完了したら、システムをシャットダウンします。
5. 「CAN ハードウェアを取り付ける」に進みます。

CAN ハードウェアを取り付ける

このセクションでは、CAN ハードウェアを PCI、PCMCIA、および PXI バスへ取り付ける方法について説明します。

CAN ハードウェアの構成を調べる

バス電源が使用可能なシステムに CAN カードを使用する場合は、電源装置のジャンパをカードに設定することをお勧めします。詳細については、『NI-CAN Hardware and Software Manual』の付録 B 「Cabling Requirements for High-Speed CAN」、付録 C 「Cabling Requirements for Low-Speed CAN」を参照してください。

PCI-CAN カードを取り付ける



注意 カードをパッケージから取り出す前に、静電気防止のプラスチック製のパッケージをシステムのシャーシの金属部分に接触させ、CAN インタフェースのさまざまなコンポーネントを破損するおそれのある静電エネルギーを放出してください。

1. システムの電源がオフで、電源コードがコンセントから外されていることを確認します。
2. 上部のカバー（または、他のアクセスパネル）を取り外し、システムの拡張スロットにアクセスできるようにします。
3. システムの拡張スロットのうち、タイプが適切で使用されていないスロットを見つけます。
4. システムのバックパネルの対応するスロットカバーを取り外します。
5. バックパネルの開口部に CAN コネクタの突き出ている部分がはまるように、CAN カードをスロットに挿入します。スペースに余裕がないかもしれませんが、インタフェースを無理やり押し込まないでください。
6. CAN カードの搭載ブラケットをシステムのパックパネルレールにネジで留めます。
7. CAN カード RTSI インタフェースをナショナルインスツルメンツの他の RTSI 装備ハードウェアに接続する際、RTSI ケーブルを使用することもできます。CAN カードの RTSI インタフェースの詳細については、『NI-CAN Hardware and Software Manual』の付録 E 「RTSI Bus」を参照してください。
8. 上部カバーを（またはアクセスパネルを拡張スロットに）取り付けます。
9. 「[取り付けを確認する](#)」に進みます。

PCMCIA-CAN カードを取り付ける



注意 カードをパッケージから取り出す前に、静電気防止のプラスチック製のパッケージをシステムのシャーシの金属部分に接触させ、CAN インタフェースのさまざまなコンポーネントを破損するおそれのある静電エネルギーを放出してください。

1. **Windows 2000/XP/Me/9x の場合** : カードを PC カード (PCMCIA) ソケットに挿入します。このカードは、ジャンパやスイッチを設定する必要はありません。

Windows NT 4.0 の場合 : オペレーティングシステムをシャットダウンし、システムの電源を切ります。ここで、カードを PC カード (PCMCIA) ソケットに挿入します。このカードは、ジャンパやスイッチを設定する必要はありません。

2. PCMCIA-CAN、PCMCIA-CAN/LS または PCMCIA-CAN/DS ケーブルをカードに接続します。NI-CAN ソフトウェアがカードに取り付けられているケーブルを自動検出します。

「[取り付けを確認する](#)」に進みます。

PXI-CAN カードを取り付ける



注意 カードをパッケージから取り出す前に、静電気防止のプラスチック製のパッケージをシステムのシャーシの金属部分に接触させ、CAN インタフェースのさまざまなコンポーネントを破損するおそれのある静電エネルギーを放出してください。

1. PXI または CompactPCI シャーシの電源がオフで、電源コードがコンセントから外れていることを確認します。

2. 使用していない PXI または CompactPCI の 5 V 周辺機器スロットを選択します。
3. 選択した周辺機器スロットのフィラーパネルを取り除きます。
4. シャーシの金属部分に触れて、服や体に帯電している可能性のある静電気を放出します。
5. CompactPCI シャーシにある PXI-846x シリーズカードの J2 コネクタのインタフェースを使用する上で考慮すべき重要な問題があります。PXI-846x シリーズ RTSI インタフェースの詳細については、『NI-CAN Hardware and Software Manual』の付録 E 「RTSI Bus」を参照してください。
6. PXI カードを選択した 5 V スロットに挿入してください。レバーを使用して、デバイスが所定の位置に完全に収まるようにします。
7. PXI カードのフロントパネルを PXI または CompactPCI シャーシのフロントパネル搭載レールにネジで取り付けます。
8. 「取り付けを確認する」に進みます。

取り付けを確認する

1. システムの電源をオンにして Windows を起動します。

Windows 2000/Me/9x の場合：新しいハードウェアの検出ウィザードが表示され、自動的に消えます。消えない場合は、**Windows 標準のドライバ**を選択し、**OK** ボタンをクリックしてください。Windows を再起動しても新しいハードウェアダイアログボックスが表示されない場合は、『NI-CAN Hardware and Software Manual』の付録 A 「Troubleshooting and Common Questions」を参照してください。

Windows NT 4.0 の場合：『NI-CAN Hardware and Software Manual』の第 2 章「Installation and Configuration」の「Verify Installation of Your

CAN Hardware」セクションを参照し、ハードウェアが正しく取り付けられていることを確認してください。

Windows XP の場合：新しいハードウェアの検出ウィザードが表示されます。デフォルトオプションである**ソフトウェアを自動的にインストールする (推奨)**を選択すると、Windows XP がドライバファイルをインストールします。Windows XP はインストールが終了したことを通知します。

2. Measurement & Automation Explorer (MAX) を起動し、更新 (<F5> を押すかメニューから**表示 → 最新の情報に更新**を選択) します。この時点で、CAN カードは**デバイスとインタフェース**に表示されます。検出済みのすべての CAN カードをテストするには、メニューから**ツール → NI-CAN → Test All Local NI-CAN Cards**を選択します。
3. 「ケーブルを接続する」に進みます。

ケーブルを接続する

CAN インタフェースを取り付けたら、CAN ケーブルをインタフェースに接続します。ケーブル接続要件は各アプリケーションにより異なるため、ナショナルインスツルメンツでは、PCMCIA-CAN、PCMCIA-CAN/LS、または PCMCIA-CAN/DS 以外のケーブルを提供していません。CAN ハードウェアのケーブル接続要件については、『NI-CAN Hardware and Software Manual』の付録 B 「Cabling Requirements for High-Speed CAN」、付録 C 「Cabling Requirements for Low-Speed CAN」を参照してください。

NI-CAN ソフトウェアをアンインストールする

NI-CAN ソフトウェアをアンインストールする前に、CAN インタフェースハードウェアをすべてシステムから取り外します。

以下の手順に従って、NI-CAN ソフトウェアを削除してください。

1. **コントロールパネルのアプリケーションの追加と削除**アプレットを実行します。
2. **Windows NT/Me/9x の場合**：削除する NI-CAN ソフトウェアを選択し、**追加と削除**ボタンをクリックします。アンインストールのプログラムが起動します。3つのオプションのうち、**すべて削除**を選択し、NI-CAN をアンインストールします。

Windows 2000/XP の場合：削除する NI-CAN ソフトウェアを選択し、**削除**ボタンをクリックします。アンインストールプログラムは、ユーザが NI-CAN をアンインストールしたいかどうかを確認します。

3. アンインストールプログラムが実行され、NI-CAN ソフトウェアに関連するフォルダ、ユーティリティ、デバイスドライバ、DLL、およびレジストリエントリをすべて削除します。アンインストールプログラムは、インストールプログラムがインストールした項目のみを削除します。

インストールプログラムにより作成されたディレクトリに何かを追加した場合、アンインストール後もそのディレクトリは空になっていないため、アンインストールプログラムはそのディレクトリを削除することができません。残っているコンポーネントは、手動で削除してください。

アンインストールプログラムが完了したら、システムを再起動します。

関連マニュアル

『NI-CAN Software for Windows』の CD には、『NI-CAN Hardware and Software Manual』一式 (PDF) が含まれています。このマニュアルには、NI-CAN ソフトウェアのインストールと NI-CAN ハードウェアの取り付けおよび構成について更に詳しい情報が記載されたセクション、「Troubleshooting and Common Questions」があります。CD またはハードドライブの NI-CAN\Documentation フォルダにある NI-CAN Hardware and Software Manual.pdf を参照してください。